



## 「はむらの学校教育」について

### コミュニティ・スクール委員会資料 ①

- 羽村市の全ての小・中学校では、**「はむらの学校教育」**（令和4年度羽村市教育委員会決定）に基づき、特色ある教育活動を進めています。
- この「はむらの学校教育」には、**教育の不易、すなわち時代を超えて変わらない価値あるもの**を掲載しています。



#### 【教育の不易】

- ◆ **「言葉の力」を中核とした学校づくり** 言葉がもつ「考える力」、「感じる力」、「想像する力」、「表す力」を、子供と教師が高め生かしながら教育を進めます。
  - ◆ **「知・徳・体」の充実** 知・徳・体の調和のとれた人間としての力を育みます。
  - ◆ **「望ましい習慣」の形成** 社会の一員として欠かせない主な習慣を、幼児期から義務教育修了までに、家庭と連携しながら形成します。
  - ◆ **「自尊感情」の醸成** 子供一人一人が「やればできる」、「伸びている」、「役立っている」ことを実感する体験をより多く積むことができますようにします。
  - ◆ **「生き方」教育（キャリア教育）の推進** 授業を通して学ぶことと自分の生き方とのつながりを見通しながら、社会的な自立に必要な力を育みます。
  - ◆ **「伝統・文化」理解教育の推進** 羽村や日本の伝統・文化について学ぶ機会の充実を図るとともに、世界の多様な伝統や文化を尊重する態度等を育みます。
  - ◆ **「特別支援」教育の充実** 通常の学級、通級による指導、特別支援学級において、障害の状態や発達の段階に応じた指導及び支援を行います。
- 各学校は、こうした時代を超えて変わらない価値あるものを大切にしながら、**「全ての子供のよさと可能性を引き出し、伸ばす」**ことを目指しています。
  - 学校教育を推進する上で、家庭・地域との連携は不可欠です。ぜひ、各学校の教育活動に御理解・御協力をくださいますよう、お願いをいたします。